

## 別紙参考資料

国立研究開発法人 水産研究・教育機構（理事長 宮原正典）は、9月3日、アメリカの非営利団体グローバル・フィッシング・ウォッチ(Global Fishing Watch、以下 GFW)、オーストラリアのウーロンゴン大学・オーストラリア国立海洋資源安全保障センター(Australian National Centre for Ocean Resources and Security, 以下 ANCORS)と、IUU（違法・無報告・無規制）漁業解明についての研究協力に関する覚書（MOU）を締結しました。

この研究協力の目的は、世界的に問題となっている、漁業の持続可能性を妨げている IUU 漁業の実態を究明し、資源への影響を明らかにするために必要な調査研究技術の向上にあります。水産研究・教育機構と GFW, ANCORS は、人工衛星によって得られた海上の夜間光データや AIS（Automatic Identification System）信号情報など公開されたデータと分析手法を共有し、IUU 漁業活動の解析を通して、漁獲対象となっている資源への影響を明らかにするとともに、その情報を広く公表していく予定です。

研究課題は今後検討される予定ですが、当面の対象課題として、太平洋における集魚灯を用いた漁業の漁獲努力量の実態解明に関する共同研究が含まれる予定です。

## 連携内容

- （1） 目的を達成するため合意された事項に関する共同研究、技術的協力
- （2） 船舶の移動データ、衛星画像、漁獲データなどの必要に応じた共有
- （3） 作業と訓練の機会を促進するための、相互訪問などの人的交流
- （4） 毎年の作業計画を進めるための会合
- （5） 共同研究成果についての広報活動

## 有効期間

平成 30 年 9 月 3 日から 3 年間

## 今後の取組

本年 10 月以降に、初年度の活動について合意して進めるための作業計画を作成する会合を横浜で開催することを協議中。

\* グローバル・フィッシング・ウォッチ(GFW)は、国際的海洋保護団体オセアナ(Oceana)、人工衛星を用いた監視活動を行う環境保護団体スカイトゥルース(SkyTruth)、ビッグデータを加工する機器を提供する企業グーグル(Google)の 3 者によって共同で設立された独立の国際的非営利団体。GFW は漁業の透明性を通して海洋の持続可能性を促進することを目的とし、最新の技術を用いて、無償でリアルタイムに近い状況で、全世界的な漁業活動を可視化し、追跡し、データを共有している（当該 HP からの転載）。

\* ウーロンゴン大学・オーストラリア国立海洋資源安全保障センター(ANCORS)は、オーストラリアで唯一の、海洋法、海洋安全、海洋天然資源管理について調査研究、教育、訓練を行っている大学を基盤とする学際的な研究機関。地域的なあるいは国際的な組織や海洋関連産業だけでなく、オーストラリア、インド洋—太平洋地域の政府機関への政策策定上の権威あるアドバイスやその他のサポートも行っている（当該 HP からの転載）。

AIS（Automatic Identification System）は、洋上の船舶同士が安全に航行できるよう、船舶の位置、針路、速力等の情報を、自動的に送受信するシステム。